

株式会社FARMIGO 会社紹介



持続可能な未来と農業の新たなモデルを創る

ソーラーシェアリング×クラウドファンディング

FARMIGOについて

株式会社ファームゴは、2020年に株式会社マイファームと千葉エコ・エネルギー株式会社の2社の合併会社で立ち上げた新たな農業ベンチャーです。これまで2社が培ってきた農業や自然エネルギーの実績を活かして、ソーラーシェアリングの自社開発を全国各地で行っていきます。



株式会社マイファーム➡

株式会社マイファーム
(代表取締役 西辻一真)

「自産自消」＝「自分でつくって自分で食べる」ことのできる社会を目指して、体験農園や農業学校の運営、農産物の生産、流通販売事業等に取り組む企業です。全国で野菜づくりを楽しむ人を増やし、農産物を自然まるごと食すことの感動を伝え、自然と共に生きる「農業者」を応援することで、人と自然が近しく、互いに育み合う未来の実現を目指している会社です。



千葉エコ・エネルギー株式会社➡

千葉エコ・エネルギー株式会社
(代表取締役 馬上丈二)

「自然をエネルギーに エネルギーを未来に」を合言葉に、地域とエネルギーの未来を考える千葉発の環境・エネルギー系ベンチャー企業。営農型発電(ソーラーシェアリング)のトップランナー企業として、全国各地で企画、立ち上げ、運用、自社開発、研究支援を行っています。

会社概要

会社名 株式会社FARMIGO (ファーミゴ)
資本金 1400万円
役員 代表取締役 石原北斗
取締役 西辻 一真 馬上丈司
監査役 谷則男
設立 令和2年8月4日
住所 〒600-8216
京都府京都市下京区東塩小路町607番地 辰巳ビル1階(株式会社マイファーム内)
連絡先 TEL: 075-746-6213

代表者・経歴



石原北斗

東京農業大学大学院農学研究科修士課程修了。ケニア農村部における環境保全型害虫管理技術の技術開発・普及に関する研究に関わる。農産物専門商社を経て、2012年マイファーム入社、アグリイノベーション大学の立ち上げに関わり、農学講義および農場実習講義の講師として新規就農者の育成に取り組む。現在は、生薬栽培や産地支援、中国/東南アジアにおける農業生産事業、ソーラーシェアリングなど、生産や営農支援、技術開発に関わるプロジェクトを統括している。2020年、株式会社マイファーム取締役に就任／東京農業大学客員研究員。

事業内容

株式会社ファーミゴはソーラーシェアリング（太陽光発電×農業）で持続可能な未来を共につくる会社です。

ソーラーシェアリングによる発電×農業

全国の遊休農地・耕作放棄地を活用した農業生産&発電事業。

地域特性や、土壌条件、規模、等により最適な営農品目や設備設計を行い、効率的な農業生産を行います。

電気の”自産自消”

電気の自産自消を目指して、作った電気の農業設備での利用、農業電化を目指しています。

また、地域施設、事業者への電力販売も実施し、農家を作る自然エネルギーの供給も行っています。

農業×電気で地域を”明るくする”モデルづくり

地域に根ざした新たな生産拠点を全国に作っていくことで、人が集まり明るい地域を作っていきます。

連携する株式会社マイファームで運営する農業学校の卒業生も連携した人づくり・地域づくりを目指します。

ソーラーシェアリングとは

農地の上部空間に太陽光パネルを設置し、農業と発電事業を同時に行うこと。パネル下の栽培に影響が出ないように、遮光率や環境条件から詳細設計し、トラクターや収穫機など農業機械の利用にも影響が少ないようにして行います。全国的に、耕作放棄地の増加は地域で問題となっており、農地の利活用と担い手の育成が急務です、また発電視点では、脱炭素の動きから自然エネルギーの電源開発が求められており、ソーラーシェアリングにも注目が集まっています。

ソーラーシェアリングとは



●ソーラーシェアリングとは？

農地の上部空間に太陽光パネルを設置し、農業と発電事業を同時に行うこと。

パネル下の栽培に影響が出ないように、遮光率や環境条件から詳細設計し、トラクターや収穫機など農業機械の利用にも影響が少ないようにして行います。全国的に、耕作放棄地の増加は地域で問題となっており、農地の利活用と担い手の育成が急務です、また発電視点では、脱炭素の動きから自然エネルギーの電源開発が求められており、ソーラーシェアリングにも注目が集まっています。

●パネルの影響／遮光率

パネルによって影になる部分の割合です。

作物によって最適な遮光率を変える必要があります。

また、最適な機械の選定も重要です。

◆遮光率 20%以下

→基本的にどのような作物でも栽培可能(作業性は別途考える必要がある)

◆遮光率 20%~30%

→基本ほとんどの作物が適しているが、水稻、果樹、など食味に影響が出やすいものもケースもあり注意。

◆遮光率30~50%

→ソーラーシェアリングで光の影響を受けずに生育でき良い(葉物類全般、サツマイモ、ニンニク、たまねぎ、牧草、大豆、など多数) ※50%になると品目は少し限られてくる

◆遮光率50~80%

→高遮光でも栽培可能な品目に限られる(アシタバ、サカキ、シキミ、きのこ類、ミョウガ、など)

【参考】今後のプロジェクト

ソーラーシェアリング×電力の農業利用×アグリテックの活用／連携を目指して進めています。



【参考】現在運用している案件の概要

概要

場所：千葉県長南町
ソーラーシェアリングサイト：2か所
発電出力： 197kWp
パネル設置高さ： 3.4m
平均遮光率： 30%

農業生産

さつまいもの生産を中心に実施（現在は、緑肥で土壌改良中）
（トラクターやハーベスタなどの利用に問題がないようにパネル／架台を設計しています）

